

教科・種目名 書写

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		2 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や 創意工夫 別表1	写真やイラストが大きい。 教科書内へ書き込む教材を多く設定している。 すべての単元に「ふりかえろう」を示している。 「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」をアイコンで統一している。 「書いて味わおう」で伝統的な文字文化についての教材を配列している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表2	低学年でも毛筆調の手本を掲載し、硬筆と毛筆を関連付けている。 「書写のかぎ」で大切にしたいポイントを示している。 巻頭に、文字を書く姿勢、鉛筆・筆の持ち方、準備の仕方を写真やイラストで示している。 合言葉で正しい姿勢を示している。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表3	作品に対する感想の交流場面を設定している。 読みやすさ、わかりやすさを考えて書く活動を設定している。

発 行 者 名	
17 教出	38 光村
写真やイラストがやや大きい。 理解しやすい短い文で説明がされている。 すべての単元に「ふりかえろう」を示している。 「めあて」「たしかめ」をアイコンで統一している。 「知りたい文字の世界」で伝統的な文字文化についての教材を配列している。	写真やイラストがやや小さい。 各單元において、ねらいと進め方を文字で示している。 すべての単元に「ふりかえろう」を示している。 「ねらい」「たいせつ」をアイコンで統一している。 「もっと知りたい」で伝統的な文字文化についての教材を配列している。
低学年でも毛筆調の手本を掲載し、硬筆と毛筆を関連付けている。 「ここが大切」大切にしたいポイントを示している。 どのページも同じ動物の絵で統一して動きを表示している。運筆リズムを音声や視覚で表現されている。 文字練習をする前段が丁寧に示されている。 3～6年生まですべて記してある。 巻頭に、文字を書く姿勢、鉛筆・筆の持ち方、準備の仕方を写真やイラストで示している。 合言葉で正しい姿勢と持ち方を示している。	低学年でも毛筆調の手本を掲載し、硬筆と毛筆を関連付けている。 「たいせつ」で大切にしたいポイントを示している。 筆の運びを擬音と共に動物の動作で書き方を示している。 「学習したことを生かして」で、えんぴつで書く学習を設定している。 巻頭に、文字を書く姿勢、鉛筆・筆の持ち方、準備の仕方を写真やイラストで示している。 合言葉で正しい姿勢を示している。
「書き方のひみつ」で伝えることをねらいとした活動を設定している。 「書いて伝えあおう」で、手紙・はがきを書く活動を系統的に設定している。	ペアでよくできているところ、気を付けるところ、大切なポイント等を交流する場面を設定している。 伝えることをねらいとして、伝わりやすさを工夫して書く活動を設定している。

教科・種目名 書写

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		2 東書
	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<p>各単元の末尾に、できたら○をつける方式で自己評価欄を設定している。</p> <p>別表4 児童が見通しをもって学習できるよう、「書写の学び方」を3過程でアイコンを使って示している。 1年生では、文字探しや試し書き等、文字に興味をもてるように工夫している。</p> <p>巻頭の「おかしな○○」で、課題を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体的に書写学習に取り組めるようにしている。</p> <p>巻末には、「書写のかぎ」を設けて、1年間で学習したことの要点をまとめている。</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<p>SDGsに対応している内容は、マークを使って関連を示している。</p> <p>別表5 児童が興味をもつ文字文化コラムを全学年に掲載し、さまざまな観点から「文字文化」に触れ、学ぶ意欲を高めるようにしている。</p> <p>左利きの持ち方・構え方を右利き同様に示したり、書き込み欄の配置を工夫したりする等、左利き児童に配慮している。</p>

発 行 者 名	
17 教出	38 光村
<p>各単元の末尾に、三段階でチェックする方式で自己評価欄を設定している。</p> <p>児童が見通しをもって学習できるよう、「学習の進め方」を4過程で示している。 1年生では、文字探しや試し書き等、文字に興味をもてるように工夫している。</p> <p>「考えよう」で、注意点等を考える活動を通して、主体的に書写学習に取り組めるようにしている。</p> <p>練習用紙の選択の仕方や作り方を示して、児童が自らの課題解決に向けて方法を選択できるようにしている。</p> <p>「文字をくらべて話し合おう」「振り返り伝え合おう」「レッツトライ」では、友達どうしで話し合えるよう、対話のモデルや、書写で使う言葉の例が示されている。</p>	<p>各単元の「ねらい」に即して気をつけて書いたかどうかをチェックする方式で自己評価欄を設定している。</p> <p>児童が見通しをもって学習できるよう、「書写の学習場面」、「学習の進め方」を写真で示している。 単元を3過程で学習を進めるよう示している。 1年生では、文字探しや試し書き等、文字に興味をもてるように工夫している。</p> <p>文字の決まりを考えたり話し合ったりする活動を通して、主体性や思考力・判断力・表現力を養えるようにしている。</p> <p>学年始と学年末を比べて、成長したことを友達どうしで確かめ合う活動を用意する等、対話を通して学習を深められるようにしている。</p>
<p>SDGs 関わる言葉を書いたり、SDGs について調べたことを書いてまとめたりする活動を取り扱っている。</p> <p>日本の文化を尊重し、国際的な視点から文字文化をとらえることができるよう配慮している。</p> <p>左手で書く場合の持ち方を掲載する等、左利き児童に配慮している。</p>	<p>教科書全体を通して、SDGs の達成に向けた工夫がなされている。</p> <p>防災マップ作りを取り上げ、防災・安全への意識を高められるよう配慮されている。</p> <p>左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載する等、左利き児童に配慮している。</p>

教科・種目名 書写

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		2 東書
	(5) 他の教科等との関連 別表6	<p>「生活に広げよう」で習得した書写力を他教科での活動につなげるよう関連を図っている。</p> <p>様々な生活場面で活用できるようなノートや手紙、新聞、ポスター等を書く活動を取り入れている。</p> <p>国語や他教科の学習と連動している教材には、関連マークをつけて意識づけを図っている。</p> <p>ローマ字表を掲載している。</p>

発 行 者 名	
17 教出	38 光村
<p>「レッツトライ」「書いて伝え合おう」で習得した書写力を他教科での活動につなげるよう関連を図っている。</p> <p>様々な生活場面で活用できるようなノートや手紙、新聞、ポスター等を書く活動を取り入れている。</p> <p>学習活動のどの場面で生かせるのかがわかるよう、教材を豊富に掲載している。</p> <p>ローマ字表を掲載している。</p>	<p>「書写広げたい」で習得した書写力を他教科での活動につなげるよう関連を図っている。第6学年においては、書写の要素を学習場面や日常生活で生かせるように書写ブックを付録している。</p> <p>様々な生活場面で活用できるようなノートや手紙、新聞、ポスター等を書く活動を取り入れている。</p> <p>全学年に国語との関連教材を設けている。</p> <p>ローマ字表を掲載している。</p>

教科・種目名 書写

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		2 東書
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表7	<p>大事なポイントには、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、手書き文字になるべく近い字形をもったものを掲載している。</p> <p>色覚特性のある児童に適応するようデザインを配慮している。</p> <p>学習に集中しやすいように、学習過程の示し方をシンプルにしている。写真やイラストの使用も最小限</p> <p>体や指を動かしてスムーズにするための「書写体操」や「運筆練習」を掲載している。</p> <p>二次元コードを掲載し、運筆動画や用具の準備・後片付けの方法等の動画を見ることができるよう工夫している。</p> <p>指導資料データ集から、総ルビ・分ち書き教科書PDFをダウンロードできる。</p> <p>鮮明なカラー写真により、学習内容を正確に伝えられるようになっている。</p> <p>毛筆教材では、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いを理解しやすい工夫がされている。</p> <p>学習指導書に、毛筆原寸大資料、硬筆ワークシートを掲載している。</p> <p>折り込み書き初め手本を掲載している。 水書の用紙が付属している。</p>

発 行 者 名	
17 教出	38 光村
<p>ユニバーサルデザインフォントを用いている。手書き文字になるべく近い字形をもったものを掲載している。</p> <p>色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすい配色やレイアウトになっている。</p> <p>文字や図を大きくしたり並べ替えたりして、見やすくした拡大教科書を発行している。</p> <p>書くための体をつくる「書写体操」を掲載している</p> <p>「まなびリンク」として二次元コードを掲載し、点画の書き方を動作で確認できる教材や運筆動画や用具の扱い方等の動画を見ることができるよう工夫している。</p> <p>鮮明なカラー写真により、学習内容を正確に伝えられるようになっている。</p> <p>毛筆教材では、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされている。</p> <p>学習指導書に、教科書に掲載されている全毛筆教材と、児童の課題に合わせた練習用紙を収録している。</p> <p>折り込み書き初め手本を掲載している。 水書の用紙が付属している。</p>	<p>単元名・教材名や「たいせつ」には、ユニバーサルデザインフォントを用いている。書き文字と差異の生じない書体を使用している。</p> <p>児童が明確に識別できる色の組み合わせにするなど、カラーユニバーサルデザインの観点から配慮している。</p> <p>情報を整理し、文字の大きさを工夫することで大切なことがひと目でわかるレイアウトになっている</p> <p>書くための体をつくる「書写体操」と「整理体操」を掲載している。</p> <p>二次元コードを掲載し、運筆動画や用具の準備・後片付けの方法等の動画を見ることができるよう工夫している。</p> <p>デジタル教科書では、総ルビ、機械音声再生、文字色・背景色・明るさの変更、分ち書き、ハイライト機能、リフロー表示が可能である。</p> <p>鮮明なカラー写真により、学習内容を正確に伝えられるようになっている。</p> <p>毛筆教材では、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされている。</p> <p>学習指導書に、毛筆原寸大資料、硬筆ワークシートを掲載している。</p> <p>学習指導付録「お手本くん」には、半紙手本・名前手本が教科書教材と同様の文字で作成できるソフトが付属している。</p> <p>折り込み書き初め手本を掲載している。 水書の用紙が付属している。</p>

教科・種目名 書写 調査研究事項

別表1

調査項目	2 東書
全体の構成の特徴について	1 ページあたりの文字による説明量が少ない。 教科書内への書き込みが多い。
伝統的な文字文化についての教材名	「書いて味わおう」 6年…漢詩「春暁」 漢文「論語」 日本の歴史 5年…竹取物語 奥の細道 枕草子 4年…百人一首 3年…俳句 2年…知っているかな いろは歌 1年…かん字のはなし

17 教出	38 光村
必要最小限の説明 読み切れる、理解しやすい文で説明がされている。 すべてのページ(学び)に「ふりかえろう」がある。 「めあて」→「たしかめ」がりんごマークで統一している。	1 ページあたりの文字情報が多い。 めあての文字指導の示し方の色統一がされている。(硬筆・毛筆共に)
「知りたい 文字の世界」 6年…文字の旅 5年…平仮名のもとになる漢字 4年…さまざまなカルタ 3年…筆について知ろう 「手書き文字」と「活字」 2年…何の形からできたかん字かな 1年…なんのかたちからできたかんじかな	「もっとしりたい」 6年生…文字の歴史 5年生…手書き文字と活字 4年生…全国筆 紙すみずりマップ

教科・種目名 書写 調査研究事項
別表2

調査項目	2 東書
硬筆練習の示し方	指でなぞる 見開きでかきかた練習 説明書き→少な目（動物の動き）で示す。 めあてを含む文字練習（書き込み）
毛筆の実習の示し方	1時間のめあてが示されていない。 活動1、活動2の表示がある。 「書写のかぎ」で筆使いの説明をしている。
姿勢、筆記具等の示し方	1、2年生 「文字を書く姿勢」…写真 えんぴつの持ち方 →右手左手 二次元コード付 3年生 「書くときの姿勢」 毛筆のひみつ→筆の紹介 用具の準備・後片付け 裏表紙→筆を洗おう

17 教出	38 光村
1年生…「とめ」…びたっ 「はらい」…すうっ 「はね」…ぴよん どのページも同じ動物の動きの絵で統一表示	1年生…スタートブック より もじたんけんたい しよしゃたいそう じをかくしせい えんぴつのもちかた いろいろなせんをかこう 1、2年生 動物（猫）の絵で「とめ」「はね」「はらい」 などの書き方を示している。 3～6年生 「生かそう」 学習したことを生かしてえんぴつで書く学習を 設定。
「よいしせい」写真 1. よいしせいと筆の持ち方を覚えよう 2. 筆の持ち方…示す写真 小筆の持ち方 3. 筆の「ほ」のやわらかさ 4. 筆圧…力を入れ方をかえて 5. すみのあつかいに気をつけてあとかたづけをし よう 文字練習をする前段が丁寧に示されている。 3～6年生まですべて記してある。	筆の運びを擬音と共に動物（猫）の動作で示して いる。 始筆・送筆・終筆と筆の運びを意識して書けるよ うに穂先に朱墨の付いた筆を使用して示している。
「じをかくしせい」…写真と合言葉で補足説明 「えんぴつのもちかた」…合言葉で補足説明 3、4年生 よいしせいと筆の持ち方を覚えよう…写真 5、6年生 姿勢と持ち方、用具のあつかい方 合言葉と説明の記載 3～6年生共通 ② 「こしびん」…こしをびんとのばす ② 「あしぺた」…足のうらをゆかにつけて少し開く	もじをかくしせい しよしゃたいそう あしぺたびんとん さあかこう →姿勢の写真 かきやすいもちかた 左右それぞれあり 見開きで示してある

教科・種目名 書写 調査研究事項

別表3

調査項目	2 東書
考える場面や話し合う場面の示し方	作品に対する感想の交流の場面が設定。

別表4

調査項目	2 東書
社会生活と結び付けた教材名と示し方	<p>学習目標に即して、知識・技能の定着や自己成長を確認できるよう、全教材の末尾に自己表欄を設けている。</p> <p>児童が見通しをもって学習できるよう、「書写の学び方」(2～6年)をイラストで示している。</p> <p>教科書の冒頭に、「おかしな○○」を設置し、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体的に書写学習に取り組めるようにしている。また、巻末には、「書写のかぎ」を設けて、1年間で学習したことの要点をまとめている。</p>

17 教出	38 光村
「書いて伝え合おう」の場面が設定。	ペアでよくできいる所、気を付ける所、大事な事の交流場面が設定。

17 教出	38 光村
<p>全ての学年において「自己評価欄」や「書き込み欄」を設け、子ども自らが主体的に額数できるようにしている。</p> <p>児童が見通しをもって学習できるよう、「学習の進め方」を写真とイラストで示している。</p> <p>4～6年では、練習用紙の選択の仕方や作り方を示して、児童が自らの課題解決に向けて方法を選択できるようにしている。</p> <p>「文字をくらべて話し合おう」(2年)、「振り返り伝え合おう」(4年)では、友達同士でめあてに気を付けて書けたところを見つけて話し合えるよう、対話のモデルや、書写で使う言葉の例が示されている。</p> <p>「レッツトライ」(5・6年生)では、対話のモデルを写真で示し、児童が主体的対話的に学習の取り組めるようにしている。</p>	<p>児童が見通しをもって学習できるよう、「書写の学習場面」(2年)、「学習の進め方」(3～6年)を写真で示している。</p> <p>学習目標に即して、知識・技能の定着や自己の成長を確認できるよう、全教材の末尾に自己評価欄を設けている。</p> <p>教材冒頭に「字のなぞとき」を設置し、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体性や思考力・判断力・表現力等を養えるようにしている。</p> <p>1年生には、入学時に書いた名前と学年末に書いた名前を比べて、成長したことを友達どうしで確かめ合う活動を用意するなど、対話を通して学習を深められるようにしている。</p>

教科・種目名 書写 調査研究事項

別表5

調査項目	2 東書
<p>発展的な内容や今日的な課題の項目</p>	<p>SDGsに対応している内容を取り扱う際には、マークを使って関連していることを示している。</p> <p>子どもたちが興味を持つ文字文化コラムを全学年に掲載し、さまざまな観点から「文字文化」に触れ、児童の学ぶ意欲を高めるようにしている。</p> <p>左利き児童への配慮として、左利きの持ち方・構え方を右利き同様に示している。また児童が手を重ねて確認できるような写真を使用したり、利き手に関わらず教材文字が見えやすいように、書き込み欄の配置を工夫している。</p>

17 教出	38 光村
<p>SDGs17の目標に関わる言葉を書いたり、SDGsについて調べたことを書いてまとめたりする活動を取り扱い、持続可能な社会の形成に関わる意識が涵養するようにしている。</p> <p>海外で手書き文字が書かれている様子を知り、日本の毛筆文化を伝える意識を高める内容を取り扱い、我が国の文化を尊重し、国際的な視点から文字文化をとらえることができるようにしている。</p> <p>感染対策、安全・安心への配慮を促す内容を取り扱っている。</p> <p>左利き児童が左手で書く場合の持ち方を掲載している。</p>	<p>「SDGsブック」（第4学年）を設けるなど、教科書全体を通して、SDGsの達成に向けた工夫がなされている。</p> <p>「町の安全を伝えよう」では、防災マップ作りを取り上げ、防災・安全への意識を高められるよう配慮されている。</p> <p>左利き児童の学びやすさを考え、左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載している。さらに、二次元コードから読み取れるコンテンツとして、左利き児童用の教科書紙面や動画を用意している。</p>

教科・種目名 書写 調査研究事項

別表6

調査項目	2 東書
各教科、総合的な学習の時間等との関連を図る教材	<p>◇なまえをかこう</p> <p>◇れんらくちょうを書こう</p> <p>◇ノートを書こう</p> <p>◇ありがとうを伝えよう</p> <p>◇お礼の気持ちを手紙で伝えよう</p> <p>◇六年生におくる言葉を書こう</p> <p>◇書写展覧会を開こう</p> <p>◇につきをかこう<国語></p> <p>◇かんさつカードを書こう<生活></p> <p>◇原こう用紙に書こう<国語></p> <p>◇実験したことを記録しよう<理科></p> <p>◇調べたことを伝える新聞を作ろう<社会></p> <p>◇委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう<国語></p> <p>◇発表のためのポスターを書こう<総合></p> <p style="text-align: right;"><合計 13 ページ></p> <p>「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成するようにしている。</p> <p>国語や他教科の学習と連動している教材には、関連マークをつけて意識づけを図っている。</p> <p>ローマ字表は、英語教科書で使われる幅の4線を採用し、英語教科書用に開発されたフォントに近い字形の手書き文字にして、児童の学習しやすさに考慮している。</p>

17 教出	38 光村
<p>◇ノート「よこがきのかきかた」<算数></p> <p>◇かんさつカード、えにつき<生活・国語></p> <p>◇ありがとうカード</p> <p>◇算数ノート「よこ書きの書き方」<算数></p> <p>◇書いて伝え合おう「しょうたいじょう、本の紹介カード」</p> <p>◇はがき・暑中みまい</p> <p>◇作品カード「てんらん会の作品カード」<図画工作></p> <p>◇原稿用紙「セーフティ教室の作文」<国語></p> <p>◇手紙「お店見学のお礼状」<学習活動></p> <p>◇文化「俳句」<国語></p> <p>◇書いて伝え合おう「メモを取ってまとめよう」</p> <p>◇発表しりょう「学習内ようをまとめる」<社会></p> <p>◇ノート「理科のノート」<理科></p> <p>◇はがき「けい老の日はがき」<社会・ふだんの生活></p> <p>◇文化「短歌」<国語></p> <p>◇かるた「ぼうさいかるたを作る」<総合・学習活動></p> <p>◇書いて伝え合おう「学級新聞を作ろう」</p> <p>◇文化『竹取物語』を書く<国語></p> <p>◇メモ「工場見学のメモー書く速さを意識して」<社会></p> <p>◇ポスター「読み手を意識して書こう」<総合></p> <p>◇書いて伝え合おう「年賀状、絵葉書を書こう」</p> <p>◇メモ「話し合いメモー書く速さを意識して」<学習活動></p> <p>◇ノート「国語のノート」<国語></p> <p>◇リーフレット「校外学習のリーフレット」<学習活動></p> <p>◇文化「『枕草子』を書く」<国語></p> <p>◇小筆「小筆を生かして書く」<学習活動></p> <p>◇書いて伝え合おう「思い出に残る言葉を書こう」</p> <p style="text-align: right;"><合計 50 ページ></p>	<p>◇すきなこと、なあに<国語></p> <p>◇よこがきのかきかた（かんさつカード）<生活></p> <p>◇げんこう用紙に書くとき<国語></p> <p>◇よこ書きの書き方（おれいじょう）<生活></p> <p>◇手紙の書き方<国語></p> <p>◇横書きの書き方（ローマ字）<国語></p> <p>◇横書きの書き方（理科ノート）<理科></p> <p>◇リーフレットの書き方<国語></p> <p>◇インタビューメモの書き方<国語></p> <p>◇英語で書いてみよう<英語></p> <p>◇パンフレットの書き方<国語></p> <p style="text-align: right;"><合計 16 ページ></p> <p>全学年に国語科国語とんお関連教材を設け、下後活動を通して、日常生活や他教科にも生きて働く書写の知識・技能を習得できるようにしている。</p> <p>他教科との関連教材「書写広げたい」を位置付け、教科横断的な学習が充実するようにしている。</p> <p>第6学年においては、書写の要素を学習場面や日常生活で生かせるように書写ブックを付録している。</p> <p>※観点別内容と特色には、算数科も挙げられているが、算数科に該当するページはなかった。第3学年横書きの書き方<国語>の数字が関連していると思われる。</p>

教科・種目名 書写 調査研究事項

調査項目	2 東書
各教科、総合的な学習の時間等との関連を図る教材	

別表7

調査項目	2 東書
写真・図表や資料、挿絵の示し方	<p>教科書紙面にある二次元コードを読み取ることにより、運筆動画や用具の準備・後片付けの方法がスマートフォンやタブレットを使ってみるができる。</p> <p>学習に集中しやすいように紙面はシンプルになっており、写真やイラストの使用も最小限に留められている。</p> <p>毛筆教材の図版は、教材文字の横に縮小手本が添えられており、それに穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされている。</p>
ユニバーサルデザイン化へ向けた取組例	

17 教出	38 光村
「レッツトライ」「書いて伝え合おう」のページでは、習得した書写力を、教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように関連を図っている。	

17 教出	38 光村
<p>教科書紙面にある二次元コードを読み取ることにより、運筆動画や用具の準備・後片付けの方法がスマートフォンやタブレットを使ってみるができる。</p> <p>姿勢図、用具の持ち方や扱い方など、鮮やかなカラー写真により、学習内容を正確に伝えられるようになっている。</p> <p>毛筆教材の図版は、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされている。</p>	<p>教科書紙面にある二次元コードを読み取ることにより、運筆動画や用具の準備・後片付けの方法がスマートフォンやタブレットを使ってみるができる。</p> <p>姿勢図、用具の持ち方や扱い方など、鮮やかなカラー写真により、学習内容を正確に伝えられるようになっている。</p> <p>毛筆教材の図版は、教材文字の横に縮小手本が添えられており、それに穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされている。</p>
<p>ロービジョンやディスレクシアにも配慮した書体であるユニバーサルデザインフォントを用いている。</p> <p>色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やレイアウトになっている。</p> <p>点画の書き方を動作で確認できる教材が、二次元コードを通じて動画と連動しており、視覚と音声で理解できるようになっている。</p> <p>もとの教科書では学びにくい児童のために、文字や図を大きくしたり並べ替えたりして、見やすくした拡大教科書を発行している。</p>	<p>単元名・教材名や「たいせつ」には、ユニバーサルデザイン書体を用いている。</p> <p>毛筆文字、硬筆文字、教科書体活字の事態の整合性がとられている。</p> <p>情報を整理し、大事なことを大きく、その他のことは小さく書く等、大切なことがひと目で分かるレイアウトになっている。</p> <p>色覚の多様性への配慮として、すべての児童が明確に識別できる色の組み合わせになっている。</p> <p>書くための体をつくる「書写体操」と「整理体操」が掲載されている。</p> <p>デジタル教科書では、総ルビ、機械音声再生、文字色・背景色・明るさの変更、分かち書き、ハイライト機能、リフロー表示が可能。</p>

教科・種目名 書写 調査研究事項

調査項目	2 東書
手本の印刷の方法	<p>学習指導書に、毛筆原寸大資料、硬筆ワークシートあり。</p> <p>教科者は机を有効に使えるように B5 変形サイズを採用している。</p> <p>教科書の教材文字を 128% 拡大すると半紙原寸大になる。</p> <p>折り込み書き初め手本あり</p>

17 教出	38 光村
<p>学習指導書に教科書に掲載されている全毛筆教材と、児童の課題に合わせた練習用紙を収録している。</p> <p>教科書は机を有効に使えるように、B5 判サイズになっている。</p> <p>折り込み書き初め手本あり</p>	<p>学習指導書に、毛筆原寸大資料、硬筆ワークシートあり。</p> <p>学習指導付録「お手本くん」には、半紙手本・名前手本が教科書教材と同様の文字で作成できるソフトが付いている。</p> <p>折り込み書き初め手本あり</p>